GAKUEN ユーザ様　各位

日本システム技術株式会社

OpenSSL および InternetExplorer の脆弱性に関するお知らせ

平素は弊社製品「GAKUEN シリーズ」をご愛顧いただきありがとうございます。

この度、IPA（情報処理推進機構）および各種報道によって注意喚起が行われて
おります OpenSSL 及び InternetExplorer の脆弱性問題について、ご案内申し上げます。

○OpenSSL の脆弱性について
OpenSSL の脆弱性（CVE-2014-0160、通称「Heartbleed」脆弱性）に
つきまして、GAKUEN シリーズ全製品に対して、影響ないことを確認
しております。本問題に関し、お客様にご対応いただく必要はございません。

参考）IPA（独立行政法人 情報処理推進機構）
OpenSSL の脆弱性対策について(CVE-2014-0160)
http://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20140408-openssl.html

○InternetExplorer の脆弱性について
InternetExplorer の脆弱性（CVE-2014-1776）につきまして、2014 年 4 月 30 日
現在、マイクロソフト社より修正プログラムは提供されておりません。

修正プログラムが適用されるまでは、下記の通り回避策を実施いただくことを
推奨いたします。

・GAKUEN/REVOLUTION をご利用の場合、下記「VGX.DLL の無効化手順」
を参照し、本脆弱性に関連する VGX.DLL の登録を無効にしてください。

・UNIVERSAL PASSPORT をご利用の場合、下記「VGX.DLL の無効化手順」
を参照し、本脆弱性に関連する VGX.DLL の登録を無効にしていただくか、
InternetExplorer 以外の対応ブラウザ（Firefox、Google Chrome、Safari※）
をご利用ください。

※ Google Chrome、Safari は、UNIVERSAL PASSPORT EX 1.4 のみ
対応しております。

■VGX.DLL の無効化手順■

1.以下の手順にて、コマンドプロンプトを管理者権限で起動します。

Windows Vista、Windows 7 の場合: [スタートボタン] – [すべてのプログラム] –
[アクセサリ] – [コマンドプロンプト] を右クリックし、「管理者として実行」を
クリックします。

Windows 8、Windows 8.1 の場合:　デスクトップで［スタートボタン］を
右クリックし、[コマンドプロンプト（管理者)] をクリックします。

2.以下のコマンド（文字列）をコピーし、手順 1 で表示されたコマンドプロンプトの
上で右クリックし、[貼り付け] をクリックします。コマンド（文字列）が
貼り付けられたことを確認後、Enter キーを押します。

″%SystemRoot%¥System32¥regsvr32.exe″ -u ″%CommonProgramFiles%¥Microsoft Shared¥VGX¥vgx.dll″

3.「C:¥xxxxxx¥vgx.dll の DllUnregisterServer は成功しました。」という
メッセージが表示されれば、無効化完了です。

※ 64bit 版 Windows の場合は続いて下記、4.5 の手順も実行してください。
32bit 版 Windows の場合は、3.にて完了です。

4.以下のコマンド（文字列）をコピーし、手順 1 で表示されたコマンドプロンプトの
上で右クリックし、[貼り付け] をクリックします。コマンド（文字列）が
貼り付けられたことを確認後、Enter キーを押します。

″%SystemRoot%¥System32¥regsvr32.exe″ -u ″%CommonProgramFiles(x86)%¥Microsoft Shared¥VGX¥vgx.dll″

5.「C:¥xxxxxx¥vgx.dll の DllUnregisterServer は成功しました。」という
メッセージが表示されれば、無効化完了です。

注 上記回避策を実施後、マイクロソフト社より修正プログラムが提供された際は、
修正プログラムの適用前に、VGX.DLL を有効化していただく必要がございます。
有効化には上記手順 2.4（64bit 版 Windows のみ）のコマンドを以下に変更して実行してください。

○手順 2

″%SystemRoot%¥System32¥regsvr32.exe″ ″%CommonProgramFiles%¥Microsoft Shared¥VGX¥vgx.dll″

○手順 4（64bit 版 Windows のみ）

″%SystemRoot%¥System32¥regsvr32.exe″ ″%CommonProgramFiles(x86)%¥Microsoft Shared¥VGX¥vgx.dll″

回避策等、本問題に関する情報については今後追加・更新される可能性があります。
定期的に情報収集を行い、適切な対応をお願いいたします。

参考）IPA（独立行政法人 情報処理推進機構）
Internet Explorer の脆弱性対策について(CVE-2014-1776)
http://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20140428-ms.html

ご不明な点がございましたら、GAKUEN サポートセンターまでご連絡ください。

以上